

新任のごあいさつ

この度、三井記念美術館の館長に就任いたしました。

私の専門は仏像を中心とする仏教美術史で、これまで16年間、成城大学文芸学部芸術学科で東洋美術史を担当してまいりましたが、それ以前は東京国立博物館に24年間、文化庁に2年間ほど勤務しておりました。

当館には一般観覧者としてしばしば訪れ、また二度ほど講演会の講師を務めさせていただいたことがあります。当館で開催される展覧会は多彩で、その充実した内容、センスのある展示にはいつも感銘を受けておりました。また当館の周辺は、近年の再開発が著しく、歴史的な建築と最新の建築が見事に調和した魅力あふれる空間となっており、私にとってはお気に入りのスポットとなっていることも確かです。私は長年学芸員として仕事をしてきたこともあり、当館の仕事に携われることに心より喜びを感じております。

当館は昨年度開館20周年を迎えました。開館以来培われてきた当館の社会的な存在意義を今後も正しく継承し、さらに発展させていきたいと考えております。私がこれまで携わってきた学芸員の仕事、文化財行政の仕事、教育の仕事で得た経験を踏まえて、少しでも貢献できるよう努めていく所存です。

三井記念美術館
館長 岩佐 光晴